

「生命の科学」第11課 要約 絶え間ない進歩のもたらすもの

- ☆ 前課では、意識からもたらされる印象は過去のあなたの一部であり、いかなるものでも除外してはならないと述べました。  
これはきわめて重要です。  
好まないからと言って他の何かと交換するなら、神秘を作り出す事になるからです。  
そして、我々は真実・事実を求めているのです。  
善・悪・無関心などは理解力の不足による法則の誤用に過ぎない事を忘れてはいけません。  
これらも全て宇宙の王国の中で起きているのです。
  
- ☆ あなたは物事を理解する為に分析する権利はありますが、批判・非難する権利はありません。  
批判は分析によく似ている為、非難や裁きと受け取られる場合もあります。  
しかし、あなたの動機が過ちを防いでくれます。  
あなたの動機が理解の為に目的を持つ高尚なものであれば、他人が何を言っても気にする必要はありません。  
そして、分析の際に過ちを犯した場合はそれを認めるのです。  
これがあなたの目的が高尚である証となります。
  
- ☆ 社会生活を長期にわたって続けて来た為、習慣が人間のマインドを支配する様になりました。  
古い習慣を新しい知識に変えなくてはなりません。  
これがあなたの半身である意識を見つけ理解する方法です。
  
- ☆ 第一課〔生命の分析・因を知る〕では、生命を分析し因に気付く事について述べました。  
更に、因と結果を同時に気付く事の重要性についても述べました。  
  
第二課〔マインド（心）とその構成成分〕では、マインドとその構成部分について解説しました。  
  
第三課〔宇宙の法則の応用〕では、宇宙の法則の応用について述べました。

第四課〔万物の相互関係〕では、想像し得る最大から最小現象に至る迄、あらゆる創造物の関連性について述べました。

第五課〔意識、英知、あらゆる生命力〕では、あらゆる生命の英知とパワーは意識からもたらされる事を述べました。

又、万物を通していかに意識が表現されているかについて述べました。

第六課〔新鮮さ・マインドを若返らせる〕では、新鮮さについて述べました。

第七課〔宇宙的記憶〕では、宇宙的な記憶について、又、過去の経験を活かす為の記憶の重要性について述べました。

第八課〔宇宙の一体性〕では、宇宙の一体性について、又、知識の欠乏によって人間が他人及び他のフォームとの分離感を起こすかについて述べました。

第九課〔宇宙細胞と世俗細胞（習慣細胞）の活動〕では、宇宙的な細胞と世俗的な細胞の活動について述べました。

第十課〔意識による旅行〕では、宇宙を旅する事について述べました。

第十一課〔宇宙空間を探索する〕では、宇宙空間の探索及び意識としての宇宙を説明しました。

第十二課〔要約 絶え間ない進歩のもたらすもの〕は、言うまでもなく、本講座全ての要約です。

☆ 受講者全員が生命を理解する為に誠実に努力し、本講座を自分の一部とする事を望みます。

しかし、これは与えられた多くのポイントを繰り返し学ぶ為の入口に過ぎず、あなたは宇宙の自己を更に拡大、成長させる事になるでしょう。

あなたに必要なものは他に何ひとつありません。

何故なら、あなたの成長に必要な道具は全て備わっているからです。

☆ 本講座を学ぶ事によって自分を知り、同様に他人を助け、より良い社会にする事が出来るでしょう。

あなたが学んで来た本講座は、個人の目的を達成する為のものとしてスペー

ス・ブラザーズにより謹んで捧げられたものです。

進歩の為の永遠の道が包まれた個人宛の贈り物として、我々はこの講座を謹んで受けるべきです。

☆ マインドは与えられるもの全ての分野を記憶する事は出来ず、マインドを進歩させる為には何度も繰り返して読まなくてはなりません。

☆ 本講座は二十年後に読んでも現在と全く変わらぬ素晴らしい価値があるでしょう。  
本講座が伝える内容に終わりは無いからです。

☆ 私は自分の意識から決してあなたを除外しません。  
ブラザーズも同様です。  
進歩への旅の途上であなたを援助しましょう。  
あなたが宇宙の英知と共に歩み語ります様に・・・。

☆ 見聞きせずに信じる事の出来る人は幸いです。  
見聞き出来ないものが宇宙なのです。  
即ち、不可視なものがパワー・英知であり、それによって我々は見聞き出来るのです。  
従って、あなたのマインドを信じる様にあなたの意識を信じる事です。

☆ 宇宙の意識を感知する様になると生命を理解する事になり、あらゆる結果を因なる意識の現われと見なします。  
忍耐と熱意を持って学びなさい。  
そうすれば、あなたは真の自分とあらゆる生命が一体ある事が分かります。  
相互に関連する宇宙の絵画が織り成す美の現実は、ひとつひとつの体験と同じ様にあなたの生活の一部となり始めます。

☆ 要約

神と呼ばれる創造主は意識の中のアイデアに気付いていた事です。  
アイデアを実現する為には宇宙に存在する構成分子を様々な組合せによりフォームとする為に応用する必要がありました。  
しかし、構成分子そのものは、いかなるフォームを造り出すべきかを理解するだけの知識を持ちませんでした。  
それで固有の表現を形作る為に、構成分子を望ましいパターンに導く指令が

言葉、即ち波動により与えられました。

とは言え、与えられた命令を受ける事が出来る十分な英知を構成分子は持っていた事になります。

- ☆ 創造主の意識の中にはフォームの現象化に対する疑惑は皆無でした。  
如何なるアイデアを望むにしろ、それが実現する事を知らねばなりません。  
言い換えれば、我々の持つアイデアがどの様なものであれ、自分に対し十分な信頼を持つべきであり、アイデアを実現する為には僅かでも疑惑を挟んではならないのです。  
何を行うにしてもこの様な（自分に対して）信頼を持つと創造主を信頼する事になります。
  
- ☆ マインドと意識を等しく調和させて組み合わせると、人間は身体を完全な健康体に再建する事が出来ます。  
そして、この法則を理解しさえすれば必ず成功する事が出来ます。

第 12 課 以上